

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.68	-0.13
JPY/THB	0.2268	-0.0011
USD/JPY	161.69	0.25
EUR/THB	39.58	0.03
EUR/USD	1.0786	0.0041
USD/CNH	7.303	-0.004
SGD/THB	27.10	-0.05
AUD/THB	24.60	0.06
USD/INR	83.53	0.03
USD Index	105.40	-0.32

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.498	0.014
10Y (THB)	2.701	0.009
5Y (USD)	4.324	-0.071
10Y (USD)	4.359	-0.073

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,369.4	36
WTI (Oil)	83.88	1.07
Copper	9,868.0	195.5

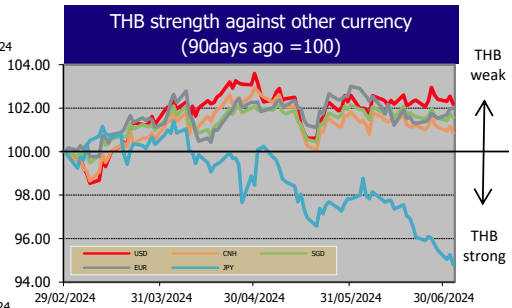
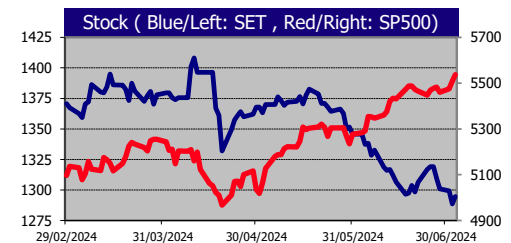
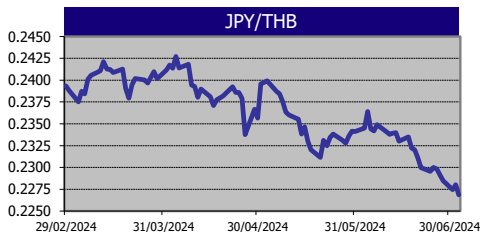
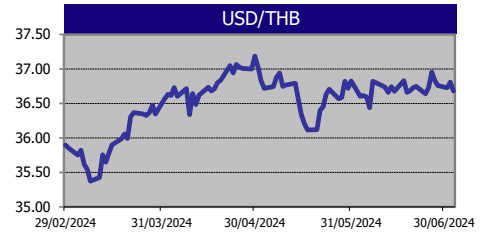
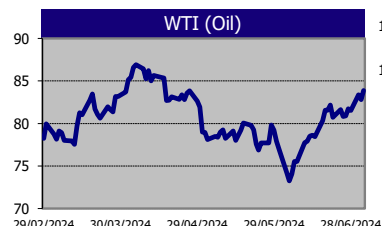
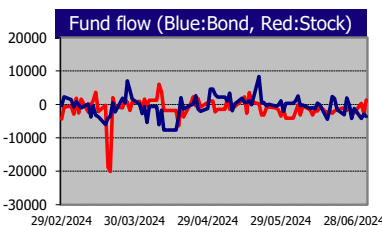
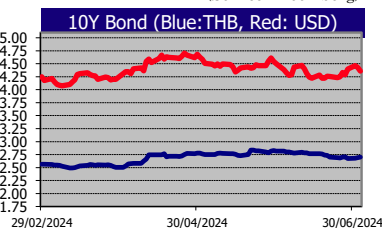
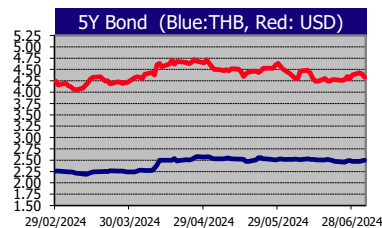
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,294.70	6.12
NIKKEI (JP)	40,580.76	506.07
DOW (US)	39,308.00	-23.85
S&P500 (US)	5,537.02	28.01
SHCOMP (CN)	2,982.38	-14.64
DAX(GER)	18,374.53	210.47

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,319	4139.6
Bond net flow	(3,588)	-670.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバース

・昨日のドルバースは下落。36バース台後半の水準で取引を開始すると、世界銀行が今年のタイ経済成長率予測を2.8%から2.4%に下方修正したとの報道もあってか、バース売り優勢の地合いとなり、ドルバースは上昇。ただ、足もとの水準を上抜けるほどの勢いは見られず、バンコク時間終盤にかけて値を戻し、往ってこいの展開となった。海外時間、6月ADP雇用統計、新規失業保険申請件数・継続受給者数、6月ISM非製造業景況指数といった米国主要指標が軒並み弱い結果であることが確認され、全般的にドル売りが進行。ドルバースは一時36バース台半ばまで下落した。終盤にかけてはFOMC議事録(6月11-12日開催分)が公表され、利下げに慎重な姿勢が示されていたこともあってかやや下落幅を縮小させ、36.68レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。161円台半ばで取引を開始したドル円は、特段目立った材料ない中でじりじりと上昇。一時162円手前の水準まで上値を伸ばした。ただ、海外時間に入り、弱い米経済指標の結果が相次いで確認されると、160円台後半まで急落。その後はドル売りが一巡したこと、FOMC議事録にて利下げに慎重なスタンスが確認されたことを受け、161円台後半から半ばにかけての水準まで戻し、161.69レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

米長期金利の上昇や日米株高を受け、今週も円相場は約38年ぶり安値圏での推移が続く。金利上昇、株高の背景は、米大統領選におけるトランプ氏再選の可能性を市場が織り込み始めたことも裏にありそうだ。もしトラの考察として、金利については、景気浮揚に向けた利下げ要求が考えられる一方、移民政策や関税政策によるインフレ再加速、減税による財政収支悪化などを背景にツイストステープ(短期金利低下、長期金利上昇)することを予想する市場参加者は多く、足元の米長期金利上昇の誘発要因となっている。為替については、トランプ氏がドル高とドル安のどちらを志向するか、いまのところ共通の見方はなく、インフレ抑制を主題とすればドル高選好、従前のように国内製造業の立て直しに重きを置けばドル安選好、あるいは為替はどちらでもよく株価重視ではないかとする見立てもあり、こうした指摘が足元の株高の一因となっているのかもしれない。いずれにしろ、円相場にとって今の状況は円安修正が期待できる地合いではなく、短期的に歯止めをかけられるのは日本当局による為替介入、円安をピークアウトさせられるとしたらFRBの利下げ観測の高まりという整理のもと、日米の要人発言や経済指標を注視するようにしたい。本日は米国休場につき相場は小動きを予想。明日米国時間に発表される6月米雇用統計までは落ち着いた動きとなるか。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.